

学校要覧

校歌

一 桜並木ぬけて 一步踏み出す 今日も友と出会い

笑顔の花咲くふたつの枝広げひとつの大樹

しなやかに伸びゆくみんなの若葉台

二 金の銀杏並木揺れて囁く 同じ時を刻み

思いを重ねるひとりひとりの実が輝く大樹

美しく色づくみんなの若葉台

三 遙か空に向かい翼広げて 未来見つめてゆく

希望のまなざし華の蕾抱いてふくらむ大樹

大きく羽ばたくみんなの若葉台



横浜市立若葉台特別支援学校(通称名 横浜わかば学園)

〒241-0801

神奈川県横浜市旭区若葉台2丁目1-1

電話 045(923)1300

FAX 045(923)1305

目 次

1 学校概要

(1) 校名等	2
(2) 学校教育目標	3
(3) 沿革	3
(4) グランドデザイン	4

2 肢体不自由教育部門[A部門]

(1) 教育の特色	5
(2) 教育課程	6
(3) 主な行事	9

3 知的障害教育部門高等部[B部門]

(1) 教育の特色	9
(2) 教育課程	10
(3) 主な行事	13

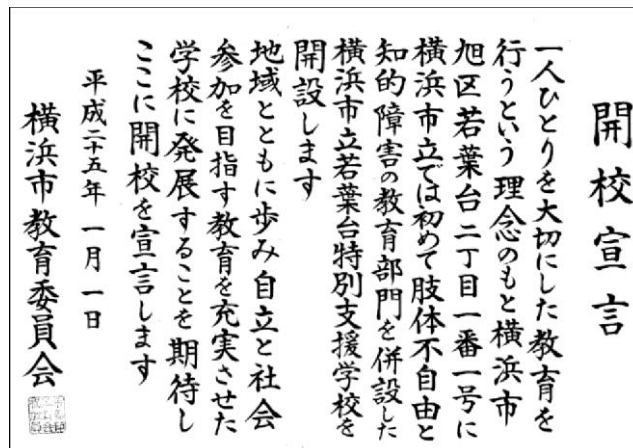
4 校舎平面図

13

5 交通アクセス

14

15



Ⅰ 学校概要

(1)校名等

校名 横浜市立若葉台特別支援学校(通称 横浜わかば学園)

校種 特別支援学校・肢体不自由教育部門〔A部門〕 小学部・中学部・高等部
・知的障害教育部門〔B部門〕 高等部

所在地 〒241-0801 横浜市旭区若葉台2丁目1-1
TEL (045)923-1300 FAX (045)923-1305

施設概要 校地面積 19,063㎡
校舎構造 鉄筋コンクリート3階建(一部4階)
延床面積 9,400㎡

児童生徒数

【肢体不自由教育部門(A部門)】

学年	小学部							中学部				高等部				合計
	1	2	3	4	5	6	小計	1	2	3	小計	1	2	3	小計	
人数	1	5	6	4	8	8	32	1	11	8	20	3	8	6	17	69

【知的障害教育部門(B部門) 高等部】

1学年	1組	9	2組	9	3組	10	合計	28	83
2学年	1組	9	2組	9	3組	10		28	
3学年	1組	9	2組	9	3組	9		27	

教職員数

学校長	1	肢体不自由教育部門教員	53	事務職員	4
副校長	2	知的障害教育部門教員	25	事務補助	1
事務長	1	非常勤講師	4	学校栄養職員	1
カリキュラムマネージャー	1	外国人講師	2	学校給食調理員	2
教務主任	2	養護教諭	2	学校用務員	2
特別支援教育コーディネーター	2	非常勤養護教諭	2	学校就労支援指導業務	1
医療的ケアコーディネーター	1	学校司書	1	職員室業務アシスタント	1
進路指導専任	4	実習助手	1	学校看護師	8

(2)学校教育目標

一人ひとりを大切にした教育を行い、地域とともに歩み、自立と社会参加を目指す教育を 充実させます。
(開校宣言)

- 一人ひとりに応じた学び、コミュニケーションを大切にした教育を行います。(知)
- 一人ひとりの自他を大切にすゝる気持ちや態度を育てる教育を行います。(徳)
- 一人ひとりの体と安全を最優先した教育を行います。(体)
- 一人ひとりの社会の一員としての気持ちや態度を育てる教育を行います。(公・開)

(3)沿革

- 平成 24.12.31 横浜市立新治特別支援学校(肢体不自由教育部門)移転
- 平成 25. 1. 1 横浜市立若葉台特別支援学校(横浜わかば学園)開校
- 平成 25. 1. 9 横浜市立若葉台特別支援学校開校宣言式
- 平成 25. 4. 1 横浜市立若葉台特別支援学校知的障害教育部門高等部開設
- 平成 25. 4.26 横浜市立若葉台特別支援学校・開校式典
- 平成 26. 4. 1 学校運営協議会設置
- 平成 29. 1.27 キャリア教育優良校 文部科学大臣表彰受賞
- 平成 29. 4.26 『カフェわかば』開店
- 平成 30. 3.12 横浜市優秀教育実践校表彰受賞
- 令和 2. 4.23 読書活動推進 文部科学大臣表彰受賞
- 令和 3.11.29 優良 PTA 文部科学大臣表彰

横浜市立若葉台特別支援学校 グランドデザイン

学校教育目標

一人ひとりを大切にした教育を行い、地域と共に歩み、
自立と社会参加を目指す教育を行います。

意思決定

地域

交流

自分で 決める

インクルーシブ

キャリアデザイン

考える力

知る力

伝えあう力

選ぶ力



国語

生活

社会

算数・数学

理科

音楽

伝え合う

気づく

選ぶ

広げる

やってみる

豊かにする

図画工作・美術

技術

家庭

体育・保健体育

外国語

表現して伝える

活かそうとする

楽しむ

伝えようとする

情報

総合

職業

特別活動

道徳

活用する

深めようとする

見つける

役割を果たす

考える

自立活動

2 肢体不自由教育部門[A部門]

(1) 学部目標

【小学部】

体験的な学習を大切に、初めてのことも繰り返しやってみる
好きを見つける
自分を知る

- ・基礎的・基本的な知識や技能を体験的な学習を通して身に付けられるように支援します。
- ・身近な人との関わりの中で、安心して学校生活を送れるように支援します。
- ・心身共に健康に過ごすために、基本的な生活習慣を身に付けられるように支援します。
- ・自分の好きなことや得意なことを見つけ、生活に活かしていけるように支援します。

【中学部】

自分のことだけではなく、周りの人と関わろうとする
好きや嫌いだけではなく、自分にできることや自分の役割を果たそうとする

- ・自分の考えや思いを伝えながら、主体的に学習に取り組めるように支援します。
- ・周囲の人と望ましい人間関係を築く力を養えるように支援します。
- ・心身共に健康に過ごすために、必要な知識や生活習慣を身に付けられるように支援します。
- ・自分の好きなことや得意なことを活かし、集団の一員としての役割を果たせるように支援します。

【高等部】

これまでに培ってきた力を、将来へつなげる
自分の好きや得意をさらに増やし、よりよく生きる

- ・主体的に学習に取り組み、社会参加に向けた知識や技能を身に付けられるように支援します。
- ・周囲の人と望ましい人間関係を築き、社会参加に向けて自分らしく過ごす力を身に付けられるように支援します。
- ・自分の心身の状態を理解し、健康に過ごすために必要な知識や生活習慣を身に付けられるように支援します。
- ・周囲の人と協力、協働しながら、主体的に自分の役割を果たそうとする態度を身に付けられるように支援します。

(2) 教育の特色

若葉台特別支援学校では、児童・生徒一人ひとりの状況や家庭環境に応じて、柔軟な通学体制を整えています。登下校に際しては、スクールバスの利用をはじめ、自家用車や通学支援車両による送迎など、複数の方法が用いられています。また、下校時には放課後等デイサービスを利用する児童・生徒もおり、多様な選択肢のもとで安全かつ円滑な登下校が行われています。

交流教育

本校の教育の特色のひとつとして、交流教育があります。

① 校内での交流 …… 知的障害教育部門(B部門)と年間を通じて交流しています。

・行事交流 …… 対面式、運動会、卒業を祝う会 など

・授業交流 …… 年間5回程度、『道徳』の学習を合同で行います。

・休み時間の交流 …… 知的障害部門の高校生が中心となって内容を考え、レクリエーションや本の読み聞かせなどを通じて交流を深めています。



② 学校近隣地域との交流

・学校間交流 …… 近隣の小学校2校と小学部の児童が交流をしています。



・地域ボランティアの方との交流 …… 小学部低学年では、読み聞かせを通じて地域の方々と交流しています。その他にも地域コーディネーターがパイプ役となり、地域の方との授業交流を計画することもあります。

③ 居住地域との交流

・副学籍による交流 …… 小学部児童および中学部生徒は、希望により居住地域の小・中学校で授業交流を行うことができます。(横浜市全体としての取組です。)

給食

小学部、中学部、高等部全学部で、児童生徒一人ひとりに合った給食を提供しています。

胃ろうからの給食注入についても、個別に対応をしています

常食



軟菜



まともりマッシュ



ムース



まともりペースト



(3) 教育課程

肢体不自由部門では学部ごとに3つの教育課程を編成しています。

① 小学部の教育課程

小学部						
知的代替Ⅰの教育課程						
各教科等の名称	年間授業時数					
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
生活	143	148	148	148	148	148
国語	177	183	217	217	217	217
算数	83	85	98	98	98	98
音楽	34	35	35	35	35	35
図画工作	34	35	35	35	35	35
体育	68	70	70	70	70	70
特別の教科道徳	17	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5
特別活動	36	37	35	35	35	35
総合的な学習の時間						
外国語活動	11	12	12	12	12	12
自立活動	257	298	331	348	348	348
教科等を含む 合わせた指導 （上記教科内に含む） 日常生活の指導 国語	74	77	77	77	77	77
教科等を含む 合わせた指導 （上記教科内に含む） 日常生活の指導 生活	74	77	77	77	77	77
教科等を含む 合わせた指導 （上記教科内に含む） 日常生活の指導 自立活動	74	77	77	77	77	77
年間総授業時数	860	920	998	1015	1015	1015

知的代替Ⅱの教育課程						
各教科等の名称	年間授業時数					
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
生活	143	148	148	148	148	148
国語	177	183	189	189	189	189
算数	83	85	70	70	70	70
音楽	34	35	35	35	35	35
図画工作	34	35	35	35	35	35
体育	68	70	70	70	70	70
特別の教科道徳	17	17.5	17.5	17.5	17.5	17.5
特別活動	36	37	35	35	35	35
総合的な学習の時間						
外国語活動	11	12	12	12	12	12
自立活動	257	298	387	404	404	404
教科等を含む 合わせた指導 （上記教科内に含む） 日常生活の指導 国語	74	77	77	77	77	77
教科等を含む 合わせた指導 （上記教科内に含む） 日常生活の指導 生活	74	77	77	77	77	77
教科等を含む 合わせた指導 （上記教科内に含む） 日常生活の指導 自立活動	74	77	77	77	77	77
年間総授業時数	860	920	998	1015	1015	1015

準ずる教育課程						
各教科等の名称	年間授業時数					
	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
国語	239	226	189	189	133	133
社会			49	66	90	90
算数	123	147	164	164	154	154
理科			84	84	85	85
生活	83	85				
音楽	66	68	49	49	35	35
図画工作	66	68	49	49	35	35
家庭					49	49
体育	68	70	70	70	70	70
外国語					55	55
特別の教科道徳	34	35	35	35	35	35
外国語活動	17	18.5	35	35		
総合的な学習の時間			35	35	35	35
特別活動	34	35	35	35	35	35
自立活動	130	168	204	204	204	204
年間総授業時数	860	920	998	1015	1015	1015

② 中学部の教育課程

中学部			
知的代替Ⅰの教育課程			
各教科等の名称	年間授業時数		
	1学年	2学年	3学年
国語	227.5	227.5	227.5
社会	17.5	17.5	17.5
数学	105	105	105
理科	17.5	17.5	17.5
音楽	35	35	35
美術	35	35	35
保健体育	70	70	70
職業・家庭	105	105	105
外国語	12	12	12
特別の教科道徳	17.5	17.5	17.5
総合的な学習の時間	23	23	23
特別活動	35	35	35
自立活動	315	315	315
教科等を含む 合わせた指導 （上記教科内に含む） 日常生活の指導 国語	87.5	87.5	87.5
教科等を含む 合わせた指導 （上記教科内に含む） 日常生活の指導 職業・家庭	70	70	70
教科等を含む 合わせた指導 （上記教科内に含む） 日常生活の指導 自立活動	70	70	70
年間総授業時数	1015	1015	1015

知的代替Ⅱの教育課程			
各教科等の名称	年間授業時数		
	1学年	2学年	3学年
国語	192.5	192.5	192.5
社会	17.5	17.5	17.5
数学	70	70	70
理科	17.5	17.5	17.5
音楽	35	35	35
美術	35	35	35
保健体育	70	70	70
職業・家庭	105	105	105
外国語	12	12	12
特別の教科道徳	17.5	17.5	17.5
総合的な学習の時間	23	23	23
特別活動	35	35	35
自立活動	385	385	385
教科等を含む 合わせた指導 （上記教科内に含む） 日常生活の指導 国語	87.5	87.5	87.5
教科等を含む 合わせた指導 （上記教科内に含む） 日常生活の指導 職業・家庭	70	70	70
教科等を含む 合わせた指導 （上記教科内に含む） 日常生活の指導 自立活動	70	70	70
年間総授業時数	1015	1015	1015

準ずる教育課程			
各教科等の名称	年間授業時数		
	1学年	2学年	3学年
国語	122.5	140	105
社会	70	105	122.5
数学	126	91	126
理科	105	122.5	105
音楽	35	35	35
美術	35	35	35
保健体育	70	70	70
技術・家庭	70	35	35
外国語	119	119	119
特別の教科道徳	35	35	35
総合的な学習の時間	35	35	35
特別活動	35	35	35
自立活動	157.5	157.5	157.5
年間総授業時数	1015	1015	1015

③ 高等部の教育課程

高等部			
知的代替Ⅰの教育課程			
各教科等の 名称	年間授業時数		
	1学年	2学年	3学年
国語	245	245	245
社会	17.5	17.5	17.5
数学	122.5	122.5	122.5
理科	17.5	17.5	17.5
音楽	35	35	35
美術	35	35	35
保健体育	70	70	70
職業・家庭	105	105	105
外国語	12	12	12
特別の教科選択	17.5	17.5	17.5
総合的な探究の時間	23	23	23
特別活動	35	35	35
自立活動	315	315	315
【上記教科内(各社)に 職業生活の指導】 国語	87.5	87.5	87.5
【上記教科内(各社)に 職業生活の指導】 職業・家庭	70	70	70
【上記教科内(各社)に 職業生活の指導】 自立活動	70	70	70
年間総授業時数	1050	1050	1050

知的代替Ⅱの教育課程			
各教科等の 名称	年間授業時数		
	1学年	2学年	3学年
国語	192.5	192.5	192.5
社会	17.5	17.5	17.5
数学	70	70	70
理科	17.5	17.5	17.5
音楽	35	35	35
美術	35	35	35
保健体育	70	70	70
職業・家庭	105	105	105
外国語	12	12	12
特別の教科選択	17.5	17.5	17.5
総合的な探究の時間	23	23	23
特別活動	35	35	35
自立活動	385	385	385
【上記教科内(各社)に 職業生活の指導】 国語	87.5	87.5	87.5
【上記教科内(各社)に 職業生活の指導】 職業・家庭	70	70	70
【上記教科内(各社)に 職業生活の指導】 自立活動	70	70	70
年間総授業時数	1015	1015	1015

学年	選択する 教育課程		
	1年	2年	3年
1	現代の国語		
2		*言語表現	*言語表現
3	言語文化		
4		地理総合	政治経済
5	歴史総合		
6			
7	公共	*数学A	数学Ⅱ
8			
9	数学Ⅰ	生物基礎	【選択】論理国語 文学国語 立憲探究 生物 化学
10		化学基礎	
11			
12	科学と人間生活		
13		体育	
14	体育	保健	体育
15			
16	保健	音楽Ⅰ	音楽Ⅱ
17	音楽Ⅰ	美術Ⅰ	
18	美術Ⅰ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅡ
19			
20	英語コミュニケーションⅠ	論理・表現Ⅰ	論理・表現Ⅱ
21			
22	家庭総合	家庭総合	情報Ⅱ
23			
24	情報Ⅰ	情報Ⅰ	
25	産業社会と人間	産業社会と人間	産業社会と人間
26	数学演習	数学演習	数学演習
27	英語演習	英語演習	英語演習
28	総合的な探究の時間	総合的な探究の時間	総合的な探究の時間
29	ホームルーム活動	ホームルーム活動	ホームルーム活動
30	自立活動	自立活動	自立活動
	必修科目	学校設定科目	

(3) 肢体不自由教育部門の主な行事

	儀式的行事	文化的行事	健康安全・ 体育的行事	遠足(旅行)・ 集団宿泊的行事	その他
4月	入学式、 前期始業式 着任式 対面式		各種健康診断 身長体重測定 緊急下校訓練 防災訓練(火災)		
5月			運動会		高3進路実習 (5月~7月)
6月				中学部1年遠足 中学部2年・高等部2年宿泊学習	
7月			体重測定 非常食摂食体験		
9月			身長体重測定		
10月	前期終業式 後期始業式		総合防災訓練 (地震)	小学部5年宿泊学習 小学部6年修学旅行 高等部1年遠足	
11月		オープンスクール 芸術鑑賞会		小学部1~4年遠足 中学部3年・高等部3年修学旅行	中3進路体験実習 (9月~3月)
12月		学習発表展覧会	体重測定		高等部入学検査
1月			体重測定		就学準備面接
2月		卒業を祝う会			公開研究日
3月	卒業証書授与式 修了式 離任式				入学説明会

3 知的障害教育部門高等部〔B部門〕

I 教育の特色

(1) 地域に展開する校内実習

校内実習では地域との連携を重視します。オフィスサポートコースは地域からの受注を受けて行う名刺や印刷物制作、ビルメンテナンスコースは市営バスの清掃委託、パン工房コースは地域交流室でのパン販売などの学習を通して、地域の方々と積極的に交流し、「働くこと」や「コミュニケーション」、「働く喜び」を実地に学んでいきます。

(2) 3学年縦割り集団で育てる「異年齢コミュニケーション力」

校内実習は1年生から3年生までが一つの集団で授業を行います。先輩、後輩としてのかかわりやコミュニケーションを通して自己肯定感を高めたり、マナーを身につけたりすることで、社会に出たあとに異年齢の人たちとの良好な人間関係を形成できる力を育てます。

(3) 現場実習の積み重ねで育てる「進路選択できる力」

- ① **働くことを体感する実習（グループ）**：1年生（秋）
1週間程度を1回、若葉台地域を中心に。
- ② **自分の適性を知る実習（個人）**：2年生（夏）（秋）
多様な職種や職場を経験する実習、4日間程度を1単位に4回。
- ③ **自分の適性を見極める実習（個人）**：2年生（冬）
1週間程度を1回、実習先の職種は希望を取って調整します。
- ④ **働くことを目指し意識する実習（個人）**：3年生（春）（秋）
2週間（～4週間）程度を2～3回。

(4) 授業と現場実習をつなげるキャリアデザイン

キャリアデザインシートを活用して、地域や企業での実習で学んだことをふり返り、身に付けた力を整理して活用したり、課題を学校の授業にフィードバックしたりして、次の実習に結びつけていきます。このサイクルを卒業までに8回～9回経験していく中で働く力を育てます。

(5) 肢体不自由教育部門（A部門）との交流及び共同学習

行事や休み時間の交流を通して、仲間意識を育み、だれとでもコミュニケーションが図れる人材を育てます。特に運動会やふれあい交流デーはA部門の児童生徒と一日かけて、交流及び共同学習をします。

II. 教育課程

(1) 教育課程編成方針

B部門の生徒は卒業後、職業人として社会の中で前向きに生きていくことを目指します。そのためキャリア教育^(注)の概念を中心に据えて教育課程を編成しました。教育課程編成のポイントは地域や企業を学びの場として意識し、授業を見つめ直すことと、生徒が自分の将来

像を考え、働くことへの関心や意欲を高めるための授業を工夫することの二点です。

知的高等部の教育課程は、教科と領域の二つに分かれています。本校では、その中の教科を一般教科・校内実習と現場実習にわけ、領域であるCC・CG（キャリアカウンセリング・キャリアガイダンス）を土台に一般教科・校内実習と現場実習の中で、学んでいきます。一般教科や校内実習で学んだことを企業や地域での現場実習で実践します。そこで学んだことをふり返し、課題は学校の授業の中にフィードバックして、次の実習に結びつけていくというスパイラルを形成し生徒のキャリア発達を促していきます。教科は3種類の教科で構成しています。国語や数学などの一般教科、そして、職業である校内実習と現場実習です。校内実習はビルメンテナンス、オフィスサポート、パン工場の3コースでおこないます。さらにキャリア教育の中核をなす領域として、総合的な探究の時間の中にCC・CG（キャリアカウンセリング・キャリアガイダンス）という学校独自の名前を付けた時間を設定しています。

一般教科では社会自立のために必要な内容いわゆる社会に出た時に役に立つ内容を精選して、基礎学力や基礎体力を育みます。さらに生涯にわたるライフキャリア教育を意識して学習を組み立てます。

校内実習では地域との連携を重視します。ビルメンテナンスは市バスの車内清掃や営業所清掃、オフィスサポートは地域からの受注を受けて行う名刺や印刷物制作、パン工房は地域交流室やケアプラザでのパン販売などの学習を通して、地域の方々と積極的に交流し、「働くこと」や「働く喜び」を実地に学んでいきます。専門高校等とは異なり、特定の職種に就くためのスキルを獲得したり、資格を取得したりする職業訓練を目的とするのではなく、働くことに向かう意欲や態度、姿勢、社会性やコミュニケーション力を養うことに重点を置いています。1年はすべてのコースをローテーションし、2年次に一つのコースを選びます。なお、校内実習は1年から3年までの縦割り集団で実施します。

現場実習では、一般教科や校内実習で学んだことを実際の会社の実習に行くことで、生かすことができるかを試す場です。その中で社会に出る時に必要な社会性やスキルなどを実際の現場で体感し、課題を意識することが必要です。現場実習で感じた課題をふり返し、一般教科や校内実習に還元し学ぶために行います。また、社会に出るために準備をする役割も担っているため、学年ごとにねらいを定めて実施します。1年では、「働くことを体感する」というねらいで、若葉台地域を中心に、1週間程度の現場実習を行います。2年の夏と秋には、「自分の適性を知る」ことをねらい、近隣地域（横浜線沿線など）を中心に4日間程度を1単位とした複数回の実習を行い、清掃・環境系、事務・情報処理系、製造・物流系、食品・福祉系など多様な職場や職種を経験します。冬は「自分の適性を見極める」というねらいのもと自分が選んだ職種で1週間程度の実習を行います。3年は、「就労体験実習」を、春と秋に2週間（～4週間）程度の実習を行います。この実習は就労を目指すための企業実習です。

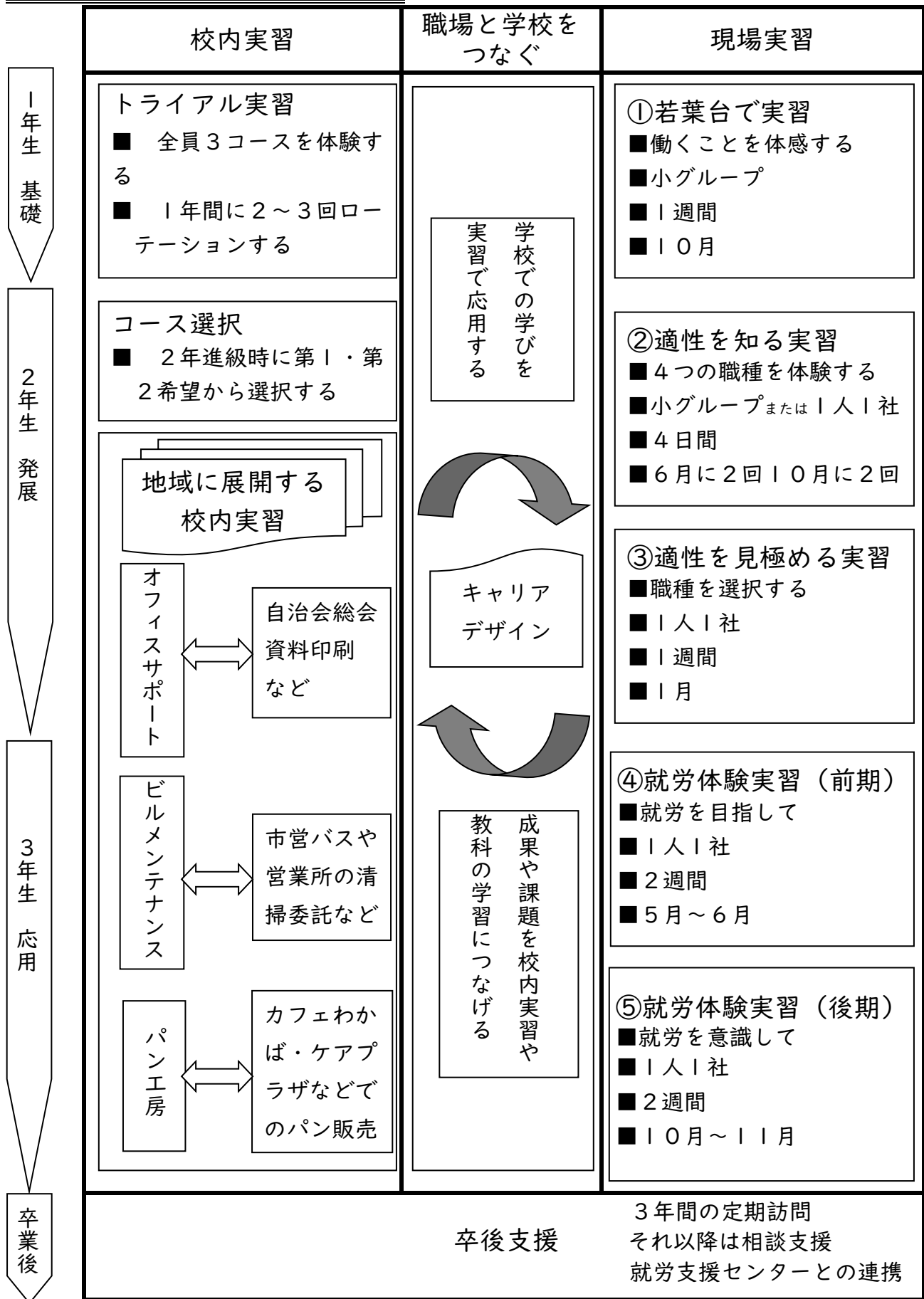
CC・CGは現場実習をふり返し、課題を見つけ一般教科や校内実習の中で身に付けた力を整理して活用する場です。そのツールとなるのがキャリアデザインです。キャリアデザインを通して生徒自身が目標を立て（Plan）、実施し（Do）、確認を行い（Check）、また、次の課題に取り組んでいく（Action）というPDCAサイクルを回していくことで、成長を促していきます。

また、様々な場面で、生徒自身によりよい選択と決定を促す場面を多く取り入れます。

（注）キャリア教育

一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育（中教審答申 H23年1月）








(2) 3年間を通じた教育の概要



(3) 教育課程編成表

	1年	2年	3年
国語	2	2	2
社会	1	0	1
数学	1	1	1
理科	1	1	0
音楽	2	2	2
美術	1	2	2
体育	3	2	2
家庭科	2	2	2
英語	1	0	0
情報	2	2	1
職業基礎	1	1	0
職業に関する教科	8	10	12
LHR・道徳・委員会	2	2	2
総合的な探究 (キャリアカウンセリング・ キャリアガイダンスを含む)	3	3	3
自立活動	2	2	2
計(週時数)	32	32	32
総授業数(年間時数)	1088	1088	1056

(4) 年間行事計画 令和7年度

	儀式的行事	文化的行事	健康安全・ 体育的行事	遠足(旅行)・ 集団宿泊的行事	その他
4月	入学式、 前期始業式 着任式 対面式 		新入生オリエンテーション 若葉台散策 各種健康診断 防災訓練(火災)		校内実習(通年) オフィスサポート ビルメンテナンス パン工房
5月			スポーツデー 運動会	修学旅行(2年)	現場実習(3年) キャリアデザイン相談会(1年)
6月					職場見学(1年) 現場実習(2年) キャリア相談(3年)
7月			緊急下校訓練		キャリアデザイン相談会(2年)
9月			防災訓練(地震)		キャリアデザイン相談会(1年)
10月	前期終業式 後期始業式				現場実習(2年、3年)
11月		オープンスクール 芸術鑑賞会			キャリアデザイン相談会(2年) キャリア相談(3年)
12月		ミュージックデー	スポーツデー		入学選抜
1月					職場見学(1年) 現場実習(2年) キャリアデザイン相談会(1年、3年)
2月		卒業を祝う会		卒業遠足(3年)	キャリアデザイン相談会(2年) 公開研究会
3月	卒業証書授与式 修了式 離任式			遠足(1年)	入学説明会

5 交通アクセス

○JR横浜線 「十日市場駅」下車

市営バス 65系統『若葉台中央』行き 15分 「若葉台近隣公園前」下車 徒歩3分

○東急田園都市線 「青葉台」下車

市営バス 65系統『若葉台中央』行き 25分 「若葉台近隣公園前」下車 徒歩3分

○相鉄線 「三ツ境駅」下車

神奈川中央バス・相鉄バス 116系統 『近隣公園経由 若葉台中央』行き 20分

「若葉台南」下車 徒歩2分



印刷・製本： 横浜わかば学園（若葉台特別支援学校）オフィスサポートコース



〒241-0801 横浜市旭区若葉台2丁目1-1

TEL: 045-923-1300 FAX: 045-923-1305